

MASCOT *Distiller*

Version 2.7 クイックスタート



目次

1 概要 P3

Mascot Distiller のソフトウェア構成や機能の概要を説明しています。

2 インストール（新規 / アップグレード） P4

Mascot Distiller のインストール操作を説明しています。32 ビット版及び 64 ビット版の Windows 10 にインストールすることができます。32 ビットあるいは 64 ビットに対応するインストーラを実行し、表示されるダイアログに従ってインストール作業を進めてください。

3 ライセンスの発行手続き P6

ライセンスの発行手続きとライセンスのインストール方法について説明しています。

4 動作環境設定 P10

各メーカーの質量分析計から出力されるデータファイルを読み込むための環境設定方法について説明しています。

5 アンインストール P12

アンインストールの方法について説明しています。

6 変更履歴 P12

これまでの変更履歴を確認することができます。

7 チュートリアル P13

Mascot Distiller の操作の流れについて説明しています。

8 お問い合わせ P19

1 概要

Mascot Distiller は、質量分析計から出力される質量データファイル (raw data file) を可視化するとともに、Mascot 検索に適したピークリストの作成、Mascot 検索の実行、Mascot 検索結果の取込・可視化、de novo シーケンシング、シーケンスタグの作成、定量解析 (Precursor、ラベルフリー) などのデータ処理を行います。Mascot Distiller は Core モジュールと Core モジュールに追加するオプションモジュールで構成されています。

Core モジュール

- すべての質量分析装置メーカーの質量データフォーマットに対応
- 質量データの可視化
- ピークリスト作成
- Mascot 検索の実行

Daemon Toolbox (オプションモジュール)

- Mascot Daemon との接続環境構築

Search Toolbox (オプションモジュール)

- Mascot 検索結果の取込と可視化
- de novo シーケンシング
- シーケンスタグの生成

Quantitation Toolbox (オプションモジュール : Search Toolbox が必要です)

- Precursor プロトコル (iS0 , SILAC , ICAT , ICPL , AQUA , Metabolic 等) に対する定量解析
- ラベルフリー (Replicate , Average) に対する定量解析

Developer Toolbox (オプションモジュール)

- Mascot Distiller ライブラリを利用するためのプログラム開発環境

フリー・ビューア

Mascot Distiller で処理された結果はプロジェクトファイル (*.rov) として保存することができます。Mascot Distiller は「プロジェクトファイル・ビューア」モードをサポートしており、Mascot Distiller ライセンスの有無にかかわらず、Mascot Distiller で作成されたプロジェクトファイル (*.rov) を読み込み、プロジェクトの内容を表示することができますので、Mascot Distiller のライセンスをお持ちではない研究者との間で Mascot Distiller の処理結果を共有することができます。

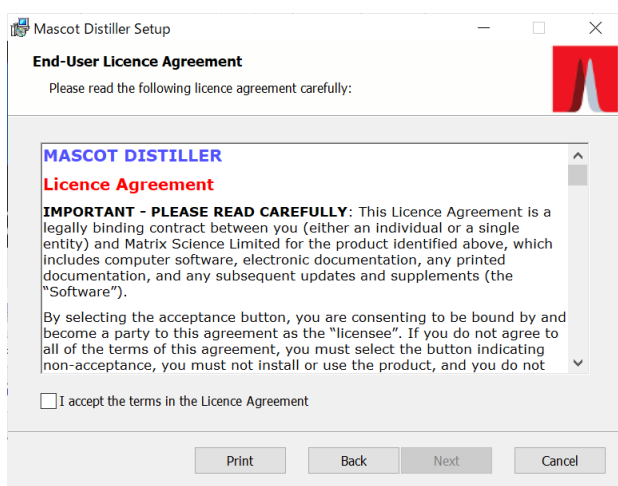
Mascot Distiller をインストールした後に、またはトライアルライセンスの有効期間 (30日) が切れた後に Mascot Distiller を起動すると、ライセンスの取得を促すダイアログ [Licensing: Mascot Distiller] が表示されますので、ダイアログの右下にある [View-mode only] ボタンを押してください。Mascot Distiller は「プロジェクトファイル・ビューア」として起動します。

2 インストール（新規 / アップグレード）

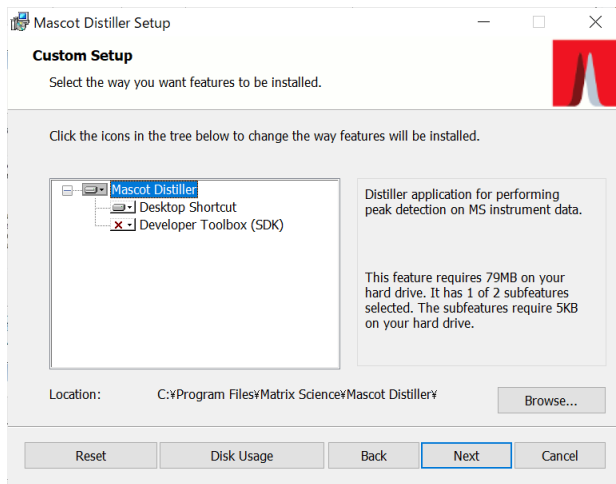
- (1) Mascot Distiller は 32 ビット版及び 64 ビット版の Windows 10 にインストールすることができます。起動しているアプリケーションソフトウェアがあればそれらを終了してください。
- (2) Mascot Distiller のインストール CD を CDROM ドライブに挿入し、インストール CD に含まれる [distiller¥setup64.exe (32bit の Windows の場合は setup32.exe)] ファイルをダブルクリックしてください。あるいは、http://www.matrixscience.com/distiller_download.html ページの [64-bit installer (32bit の場合は 32-bit installer)] リンクをクリックしたときに表示されるダイアログの [実行] ボタンを押してください。インストールが始まります。
- (3) 表示されるダイアログに従ってインストールを進めてください。



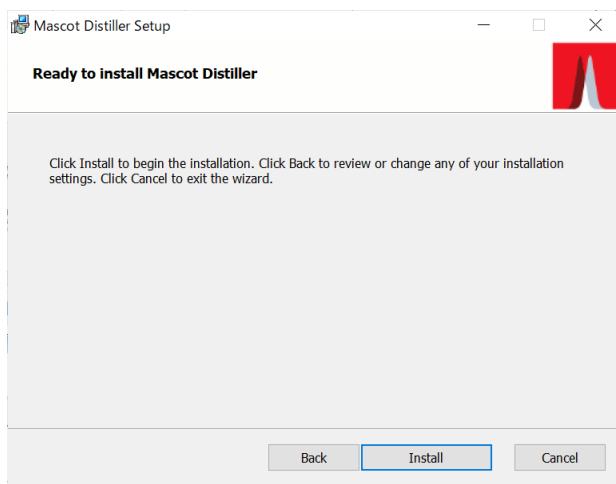
インストールの準備が完了するとこのダイアログが表示されますので [Next] ボタンをクリックしてください。



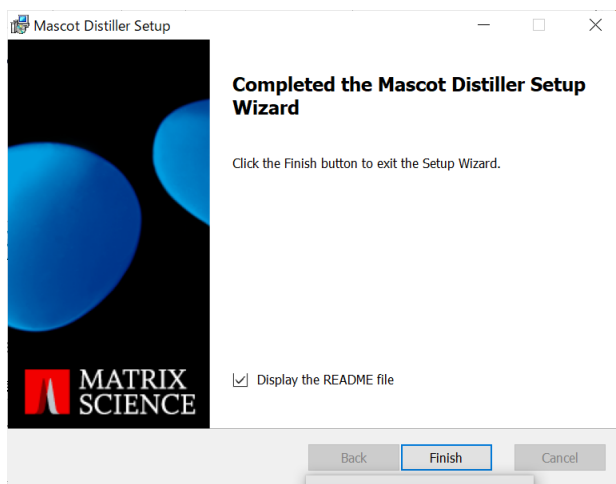
License Agreement をお読みください。内容に問題がないようでしたら「I accept the terms in the License Agreement」をチェックし、[Next] ボタンをクリックしてください。



×印の Developer Toolbox は別途ライセンスが必要です。インストールするフォルダ (Location) に問題がなければ [Next] ボタンをクリックしてください。



インストールの準備が整った旨のダイアログです。[Back] ボタンをクリックすると前のダイアログに戻ることができます。問題ないようでしたら [Install] ボタンをクリックしてください。



インストールが正常に終了するとこのダイアログが表示されます。[Finish] ボタンをクリックしてください。アップグレードの場合はこれで終了です。新規の場合は「3 ライセンスの発行手続き」に進んでください。

場合によってはこの後システムの再起動を求められることがあります。その際は指示に従い再起動を行ってください。

3 ライセンスの発行手続き

Mascot Distiller を起動し、ライセンスの発行手続きを行ってください。登録フォーム（Web ブラウザによる「オンライン登録フォーム」またはファクシミリによる「オフライン登録書類」を選択することができます）に必要な事項を記入し、弊社宛にお送りください。ライセンス情報を含む電子メールをお送りいたします。

お送りした電子メールの本文にライセンス情報が含まれていますので、本文全体をコピー（クリップボードにその内容がコピーされます）してください。Mascot Distiller にはクリップボードの内容を自動的に読み込む機能がありますので、クリップボードにライセンス情報が含まれている場合はそれを自動的に読み取り、ライセンスのインストールが完了します。

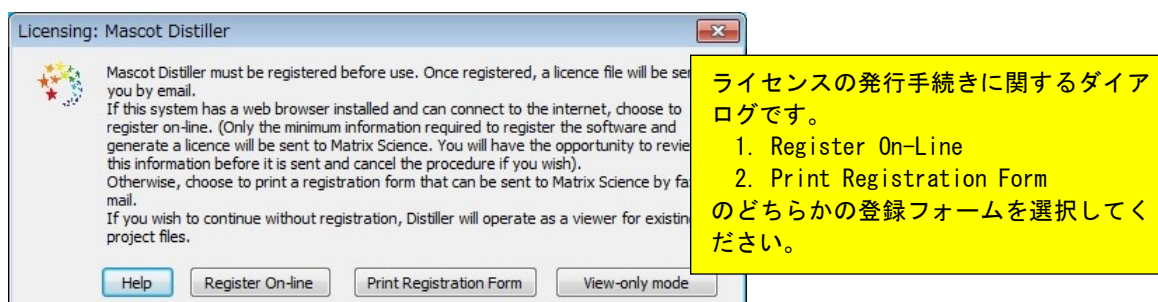
(1) Mascot Distiller の起動

デスクトップの Mascot Distiller アイコンをダブルクリックするか、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Mascot]→[Mascot Distiller]を選択し、Mascot Distiller を起動してください。



(2) 登録フォームの表示

「C:\ProgramData\Matrix Science\licdb」フォルダにライセンスファイル（Distiller.lic）が存在しない場合や無効になっている場合は、ライセンスの発行手続きに関するダイアログが表示されます。



(3) オンラインによるライセンス発行手続き（オフラインを希望する場合は(4)をご覧ください）

PCにWebブラウザがインストールされていて、インターネットへの接続環境が整っている場合は[Register On-line]ボタンをクリックしてください。弊社のライセンス発行サーバに接続され、次の画面が表示されます。

オンライン登録フォームの各項目に必要な事項を入力してください。アスタリスク（*）が付いている項目は入力必須項目です。

アスタリスク（*）が付いている項目は入力必須項目です。「Serial number」入力欄にはシリアル番号を入力します。シリアル番号は **68E9-3233-73A7** のような形式を持っています。シリアル番号が不明な場合は弊社技術サポートまでご連絡ください。

ここで入力された情報は Mascot Distiller のライセンス発行およびお客様への技術サポートの提供以外の目的（広告主や第三者への提供など）で使用することはありません。

入力項目への入力が終わりましたらページの最下位にある [Generate Licence] ボタンをクリックしてくだ

さい。「Email address」項目で入力した電子メールアドレス宛にライセンスをお送りいたします。

なお、異なる PC への再インストールや既存ライセンスが無効になるような PC システム構成の変更（ネットワークカードを変更したような場合）を行った場合は、再度ライセンスを取得する必要がありますので弊社技術サポートまでご連絡ください。

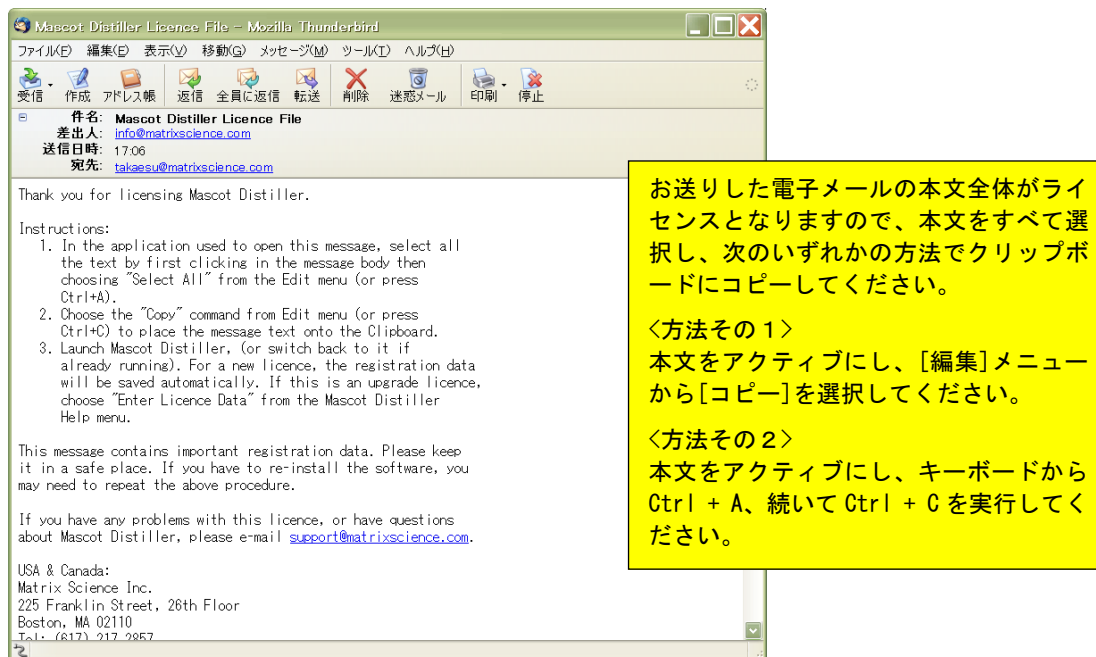
(4) オフラインによるライセンス発行手続き

インターネットへ接続できない場合やオンラインでの登録手続きを希望されない場合は [Print Registration Form] ボタンをクリックしてください。ファクシミリ送付シート (Licence_request.rtf ファイル)が開きますので、必要事項を記入し弊社宛ファクシミリをお送りください。「Email address」項目で入力した電子メールアドレス宛にライセンスをお送りいたします。

(5) ライセンスのインストール

お送り頂きました登録情報に基づきライセンスを作成し、「Email address」項目で入力した電子メールアドレス宛にライセンスをお送りいたします。

Mascot Distiller は Windows のクリップボードに保存されたライセンス情報を自動的に取得することができます。お送りした電子メール（電子メールのメッセージ本文全体がライセンスになっているとお考えください）に関して、次の操作を行ってください。



Mascot Distiller Licence File - Mozilla Thunderbird

件名: Mascot Distiller Licence File
差出人: info@matrixscience.com
送信日時: 17:06
宛先: takaesu@matrixscience.com

Thank you for licensing Mascot Distiller.

Instructions:

1. In the application used to open this message, select all the text by first clicking in the message body then choosing "Select All" from the Edit menu (or press Ctrl+A).
2. Choose the "Copy" command from Edit menu (or press Ctrl+C) to place the message text onto the Clipboard.
3. Launch Mascot Distiller, (or switch back to it if already running). For a new licence, the registration data will be saved automatically. If this is an upgrade licence, choose "Enter Licence Data" from the Mascot Distiller Help menu.

This message contains important registration data. Please keep it in a safe place. If you have to re-install the software, you may need to repeat the above procedure.

If you have any problems with this licence, or have questions about Mascot Distiller, please e-mail support@matrixscience.com.

USA & Canada:
Matrix Science Inc.
225 Franklin Street, 26th Floor
Boston, MA 02110
Tel: (617) 217-2857

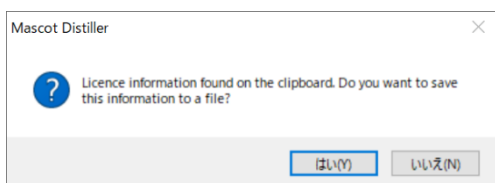
お送りした電子メールの本文全体がライセンスとなりますので、本文をすべて選択し、次のいずれかの方法でクリップボードにコピーしてください。

<方法その1>
本文をアクティブにし、[編集]メニューから[コピー]を選択してください。

<方法その2>
本文をアクティブにし、キーボードから Ctrl + A、続いて Ctrl + C を実行してください。

- ① お送りした電子メールメッセージを開き、メッセージ本文が表示されているウインドウをクリックし（アクティブにし）、[編集]メニューから[すべて選択]を選択してください（あるいはキーボードの Ctrl キーを押しながら A キーを押してください）。メッセージ本文が反転し、選択されます。
- ② [編集]メニューから[コピー]を選択してください（あるいはキーボードの Ctrl キーを押しながら C キーを押してください）。メッセージ本文が Windows のクリップボードにコピーされます。
- ③ Mascot Distiller を起動してください。Mascot Distiller がすでに起動している場合は Mascot Distiller をアクティブにしてください。Windows のクリップボードにコピーされているライセンスが新規ライセンスの場合、Mascot Distiller は自動的にそのライセンスを取り込み、有効にします。

Windows のクリップボードにコピーされているライセンスが新規ライセンスではなくアップグレードライセンス等の場合は、[Help]メニューの[Enter License Data]を選択してください。Mascot Distiller はライセンスを取り込み、有効にします。



ライセンスの取り込みに成功するとこのダイアログが表示されます。[はい]をクリックしてライセンスファイルを保存してください。

- ④ 上記の操作がうまくいかない場合は、電子メールのメッセージ本文を ASCII (American Standard Code for Information Interchange) テキストファイル (ファイル名は Distiller.lic) として作成し、「C:\ProgramData\Matrix Science\licdb」フォルダに保存してください。

4 動作システム構成

Mascot Distiller は、32 ビット及び 64 ビットの Windows (XP Pro、Serve 2003、Vista Business/Ultimate、7 Pro、Server 2008) で動作します。しかし Windows のサポート状況から、基本的に Windows10 でのご利用をお勧めいたします。

Mascot Distiller は次の質量分析計データ処理ソフトウェアから出力されるデータファイルフォーマットをサポートしています。いくつかのデータファイルフォーマットについては、対応する質量分析計データ処理ソフトウェアに付属するライブラリファイル群 (DLL あるいは OCX と呼ばれる Windows のプログラムライブラリで、Mascot Distiller がデータファイルを読み込む際に利用します) が必要です。質量分析計データ処理ソフトウェアがインストールされている PC に Mascot Distiller をインストールする場合は特別な環境設定等は必要ありませんが、質量分析計データ処理ソフトウェアがインストールされていない PC に Mascot Distiller をインストールする場合は、必要なライブラリファイルをインストールしてください。

(1) Agilent MassHunter (Q-TOF)

ライブラリは必要ありません。

Microsoft .NET Framework 4. x が必要です。

(2) Applied Biosystems Data Explorer (Voyager、4x00)

4000 Series Explorer から出力される *.T2D ファイルに対して、追加ライブラリは必要ありません。

Voyager の *.DAT ファイルを処理したい場合は Data Explorer がインストールされている PC に Mascot Distiller をインストールしてください。Mascot Distiller は Data Explorer version 3.5 から 4.11 で動作確認をしています。なお、Data Explorer の仕様上、Data Explorer と Mascot Distiller を同時に起動するとエラーが発生しますので、同時に起動しないでください。

(3) Applied Biosystems Analyst (QStar、QTrap)

ライブラリは必要ありません。

Microsoft .NET Framework 4. x が必要です。

(4) Bruker / Agilent yep format (Bruker Esquire、Agilent LC/MS Trap)

ライブラリは必要ありません。

Microsoft .NET Framework 2.0 が必要です。

(5) Bruker XMASS / XTOF (Reflex、Biflex 等)

ライブラリは必要ありません。

Microsoft .NET Framework 2.0 が必要です。

XMASS FT データに対しては常にプロファイルデータとして読み込んでください。また、PSD データファイルに対する電荷は 1 を指定してください。

(6) Bruker baf format (Apex、MicroTOF)

ライブラリは必要ありません。

Microsoft .NET Framework 2.0 が必要です。

(7) mzML

ライブラリは必要ありません。

mzXML スキーマのバージョン 1.1.0 に準拠している必要があります。

Applied Biosystems Analyst が出力した mzML ファイルは、圧縮されたプロファイルデータを含んでおり、失われたデータポイントを復元することができないため、Mascot Distiller ではサポートしていません。

(8) mzXML

ライブラリは必要ありません。

mzXML スキーマのバージョン 2.0 か 2.1 に準拠している必要があります。確認方法として、mzXML ファイルをテキストエディタで開き、最初の数行を見てください。次のような文章が記載されている場合は、mzXML_2.0 あるいは mzXML_2.1 のスキームです。

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<mzXML
xmlns="http://sashimi.sourceforge.net/schema_revision/mzXML_2.1"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://sashimi.sourceforge.net/schema_revision/mzXML_2.1
http://sashimi.sourceforge.net/schema_revision/mzXML_2.1/mzXML_idx_2.1.xsd">
```

最初の数行で MsXML.xsd のスキーマを参照している場合は、このファイルは Mascot Distiller がサポートしていない古いフォーマットです。

Applied Biosystems Analyst が出力した mzXML ファイルは、圧縮されたプロファイルデータを含んでおり、失われたデータポイントを復元することができないため、Mascot Distiller ではサポートしていません。

(9) Shimadzu Kompact (Axima)

ライブラリは必要ありません。

Mascot Distiller は Axima 製品のデータファイルをサポートしています (初期の Kompact データファイルでの動作確認は行っていません)。データファイルを開くためには gzip.exe プログラム (Launchpad に含まれています) が必要です。Launchpad がインストールされている場合、gzip.exe プログラムは C:\Program Files\Kompact\programs フォルダにありますので、このフォルダにシステムパスを通してください。

サポートしているキャリブレーション手法は、Least square (old and new)、Quadratic、Cubic、Two point です。Polynomial はサポートしていません。

PSD データについては、Cubic spline を使った Additional fragment correction をサポートしていますが、Quadratic fit はサポートしていません。

Complete LC Maldi run の場合は LCSpots0001.run ファイルを開いてください。全ての MS スペクトルが読み込まれると同時に、関連する MS/MS スペクトルに対応する run ファイルも読み込まれます。これらのファイルは同じフォルダに配置してください。なお、CallSpots および Cal2Spots は無視されます。

自動測定データの場合はベースとなる run ファイルを指定することにより、全ての MS および MS/MS スペクトルを読み込みます。たとえば、sample_0001.run ファイルを読み込むことにより、N14 スポットの 1164 と 1440 プリカーサに対応する、sample_0001-N14-1164_0001.run および sample_0001-N14-1440_0001.run ファイルを読み込みます。

(10) Shimadzu LCMSsolution (LCMS-IT-TOF)

Shimadzu LCMS-IT-TOF Data Export ライブラリ (TTFLDataExport) 1.02 が Distiller と同じコンピュータにインストールされている必要があります。

(11) Thermo Finnigan Xcalibur (LCQ, LTQ, Orbitrap)

ライブラリは必要ありません。

(12) Waters Masslynx (QTof, M@ldi, TofSpec)

ライブラリは必要ありません。

MS^E のデータを処理するためには Microsoft .NET Framework 4.5 以降が必要です。

5 アンインストール

- (1) [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能]を選択してください。
- (2) リストの中の[Mascot Distiller]を右クリックし、[アンインストール]を選択してください。
- (3) ダイアログに従ってアンインストールしてください。

6 変更履歴

次のページの「Change History」リンクをご覧ください。

http://www.matrixscience.com/distiller_change_history.html

7 チュートリアル

(1) 起動

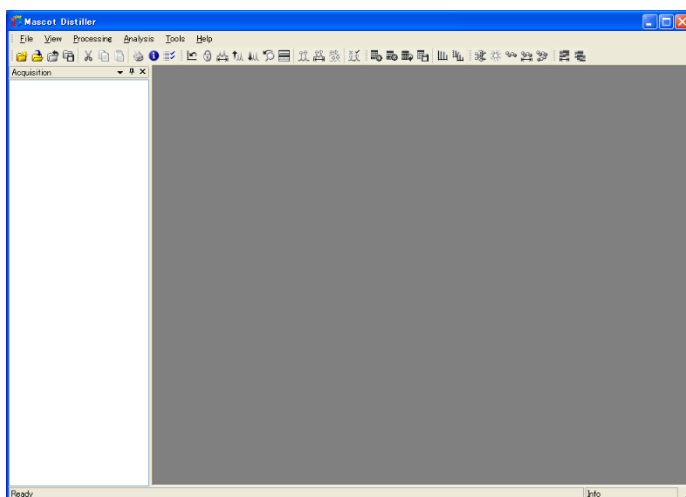
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Mascot]→[Mascot Distiller]を選択するか、デスクトップにある [Mascot Distiller]アイコン、



をクリックしてください。スタートアップダイアログが表示され、

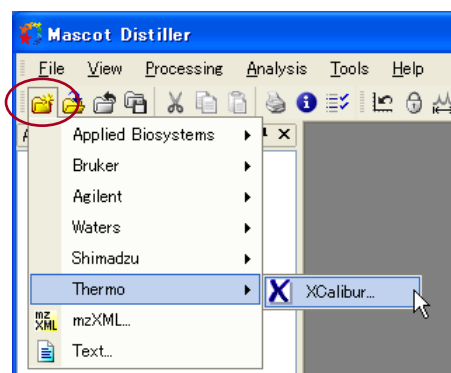


Mascot Distiller が起動し、次のような画面が表示されます。



(2) 質量データファイルの読み込み

[New Project]アイコンをクリックし、読み込みたいデータファイル形式に対応するメニューを選択してください(あるいは[File]→[New Project]を選択してください)。[Select “選択メニュー名” data set]ダイアログが表示されます。右の例ではサーモフィッシャーサイエンティフィック社の Xcalibur を選択しましたので、[Select Xcalibur data set]ダイアログが表示され、raw 形式のデータファイルを読み込むことができます。



読み込みたいデータファイル(右の例では sample_11.RAW ファイル)を選択した後、[開く]ボタンを押してください。データファイルが読み込まれます。

[Data Explorer]の[Acquisition]タブには構造化されたデータ内容([TIC]-[Survey スキャン]-[MS/MS スキャン])がツリー状に展開され、スキャン番号、m/z、電荷などの情報とともにリスト表示されます。また、[Precursors]タブにはMS/MS スキャンがm/z 順に、スキャン番号、電荷の情報とともにリスト表示されます。

[Data Explorer]の右隣にある[TIC ウィンドウ]には TIC スペクトルが表示されます。

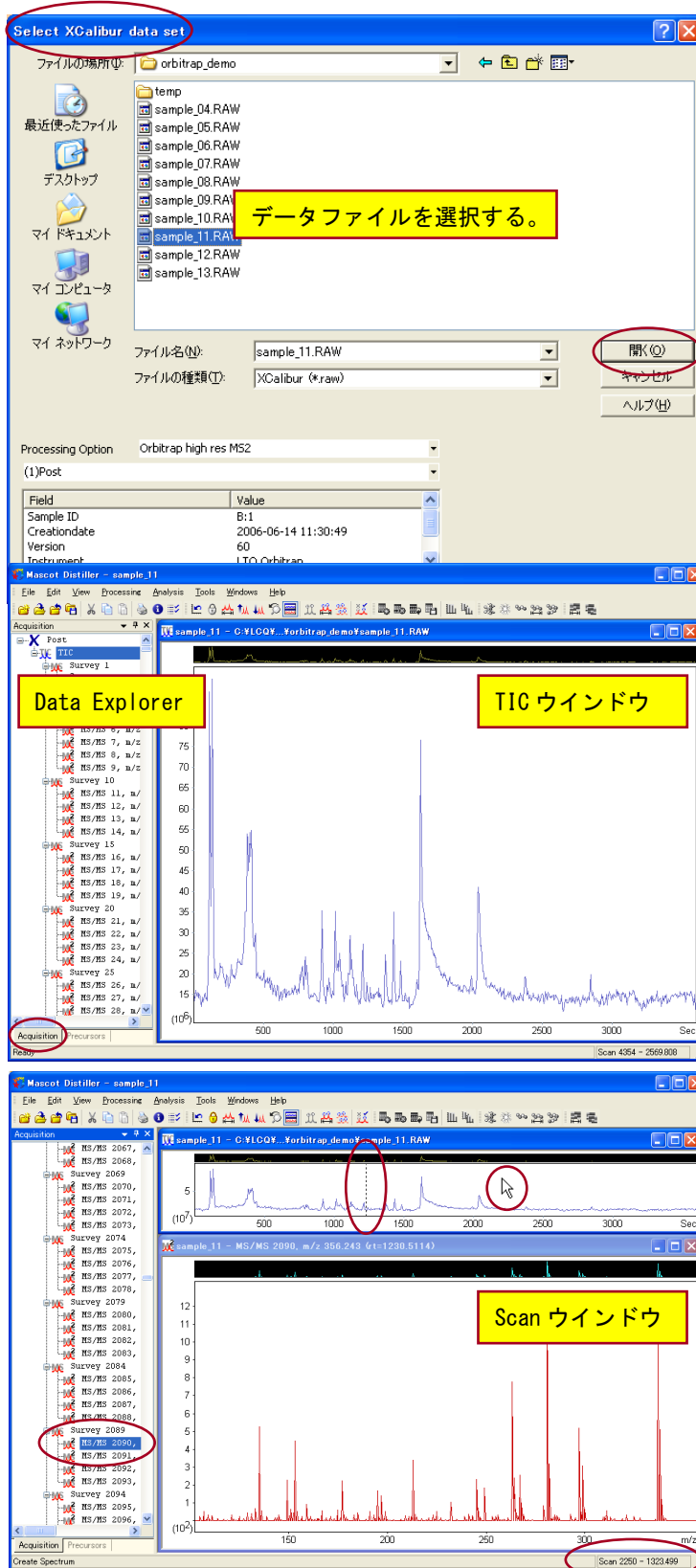
[Data Explorer]にツリー展開されたリストから任意の[Survey 番号]や[MS/MS 番号](たとえばMS/MS 2090, m/z 356.243)をクリックするか、[TIC ウィンドウ]内の任意の位置(たとえば縦点線)をクリックすると、新たに[Scan ウィンドウ]が出現し、そのスキャンに対応したスペクトルが表示されます。

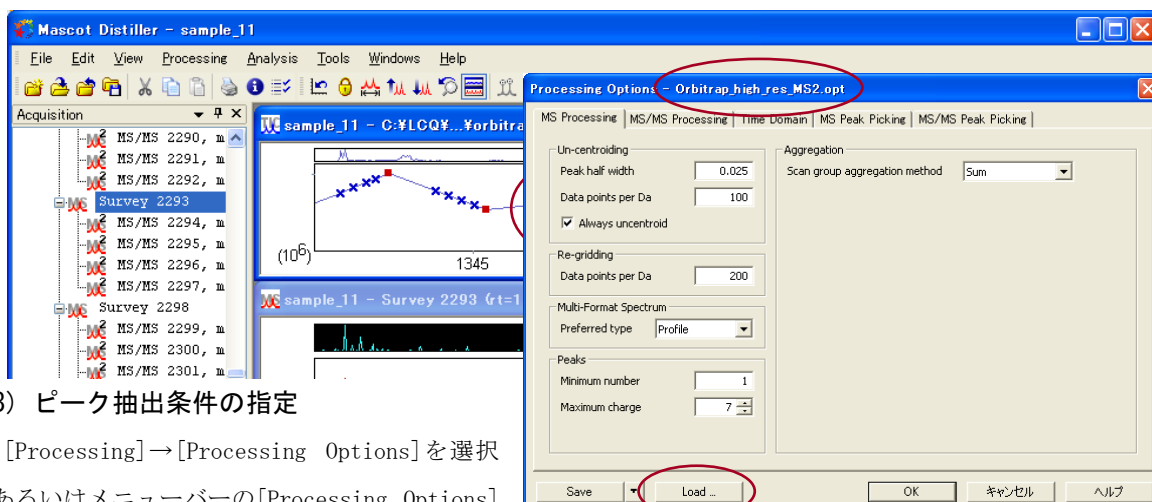
[TIC ウィンドウ]、[Scan ウィンドウ]内にマウスカーソルがある場合、マウスカーソルの位置におけるデータ(保持時間とイオン強度、m/z と相対強度)が画面右下にある表示欄に表示されます。

[TIC ウィンドウ]、[Scan ウィンドウ]内でマウスをドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。ひとつ前の拡大表示に戻る場合は[View]→[Zoom Back]を選択(あるいはメニューバーの[Zoom Back]アイコンをクリック)してください。最初の表示状態に戻したい場合は[View]

→[Home Spectrum]を選択(あるいはメニューバーの[Home Spectrum]アイコンをクリック)してください。

なお、TIC スペクトルを拡大すると赤い四角(■)と青いクロス(×)で構成されていることがわかります。■は Survey スキャンを示し、×は MS/MS スキャンを示します。





(3) ピーク抽出条件の指定

[Processing] → [Processing Options] を選択
(あるいはメニューバーの [Processing Options]

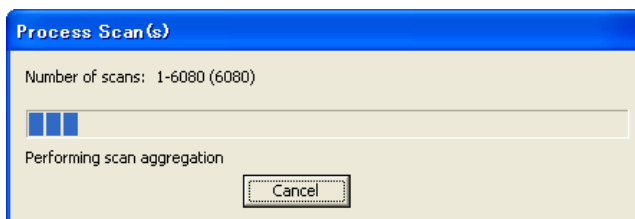
アイコンをクリック) してください。[Processing Options] ダイアログが表示されます。ピーク抽出条件はプロセッシングオプションファイル(拡張子は opt)にまとめられており、データファイルを読み込む際に表示される [Select “選択メニュー名” data set] ダイアログの [Processing Option] 選択リストからも指定することができます。また、[File] → [File Associations ...] で表示されるダイアログでデフォルトのプロセッシングオプションファイルを指定することもできます。この例では [Orbitrap_high_res_MS2.opt] プロセッシングオプションファイルが読み込まれていますが、別のプロセッシングオプションファイルを指定したい場合は [Load ...] ボタンを押して表示されるダイアログから選択してください。

なお、[Processing Options] ダイアログの設定値に関しては、[Help] → [Mascot Distiller Help] で表示されるヘルプページの [References] → [Options Dialogs] → [Processing Options] を参照してください。

(4) ピーク抽出処理の実行

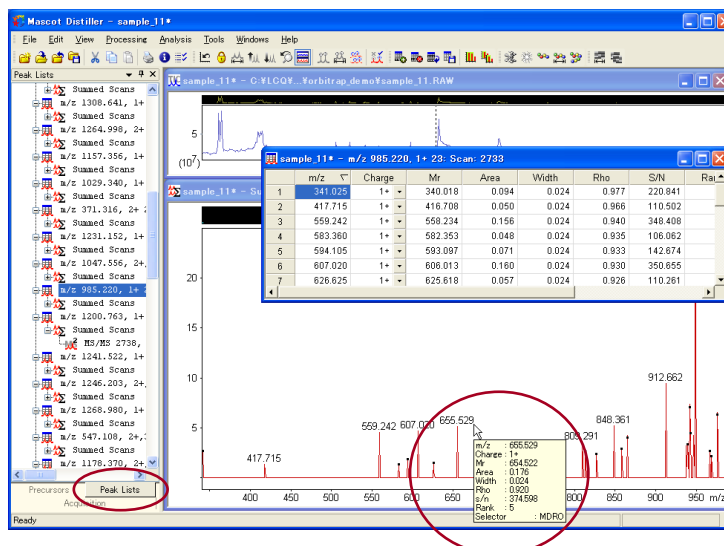
[Processing] → [Process All Scans] を選択 (あるいはメニューバーの [Process All Scans] アイコンをクリック) してください。ピーク抽出処理の進捗状況を示す [Process Scan(s)] ダイアログが表示され、ピーク抽出処理が開始されます。

TIC の選択領域に対してピーク抽出処理を行いたい場合は、[TIC ウィンドウ] をアクティブにした上で、[Processing] → [Process Range] を選択 (あるいはメニューバーの [Process Range] アイコンをクリック) してください。



[Data Explorer] で選択した MS あるいは MS/MS スキャンに対してピーク抽出処理を行いたい場合は、[Processing] → [Process Scan] を選択 (あるいはメニューバーの [Process Scan] アイコンをクリック) してください。

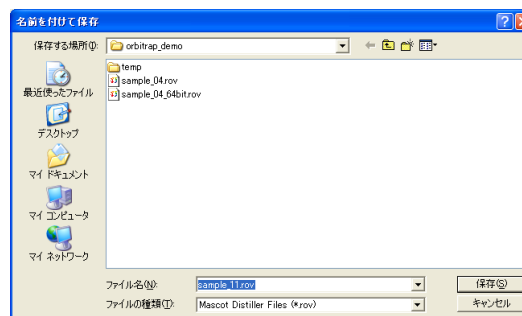
ピーク抽出処理が終了すると [Data Explorer] の [Peak Lists] タブが作成され、ピーク抽出処理結果が表示されます。[Scan ウィンドウ] のスペクトル上に抽出されたピークの m/z の値が表示されるとともに、抽出された全てのピーク情報を表形式で表示させることもできます。また、ピークの値にマウスカーソルを合わせるとそのピークの詳細情報がポップアップ表示されます。



抽出されたピークリストを保存する場合は、[File]→[Save Peak List As]→[Collection As]で表示されるファイル形式(Comprehensive、Mascot Generic File (MGF)、LCQ (DTA)、mzData)で保存することができます。

(5) プロジェクトの保存

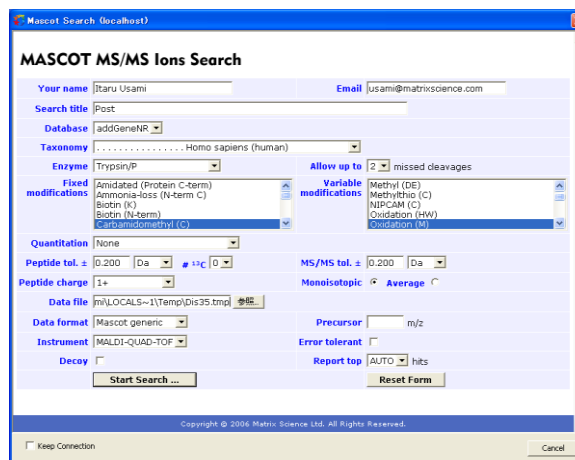
現在の内容をプロジェクトファイル(拡張子は .rov)として保存することができます。[File]→[Save Project]を選択(あるいはメニューバーの[Save Project]アイコンをクリック)すると[名前を付けて保存]ダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して保存してください。



プロジェクトファイルを読み込む時は、[File]→[Open Project]を選択(あるいはメニューバーの[Open Project]アイコンをクリック)すると[Select Mascot Distiller file]ダイアログが開きますので、プロジェクトファイルを指定して読み込んでください。プロジェクトファイルを保存した時点の内容が再現されます。

(6) Mascot 検索の実行

ピーク抽出処理実行後に、直接 Mascot Server にアクセスし、Mascot 検索を実行することができます。[Analysis]→[Mascot Search ...]→[All Peak Lists]を選択(あるいはメニューバーの[All Peak Lists]アイコンをクリック)してください。あらかじめ指定してある Mascot Server に接続され、Mascot 検索条件設定画面が表示されます。[Data file]入力欄にはすでに Mascot Distiller によって抽出・作成されたピークリストが中間ファイルとして指定されていますので、検索条件を指定した後、[Start Search ...]ボタンを押して Mascot 検索を実行してください。

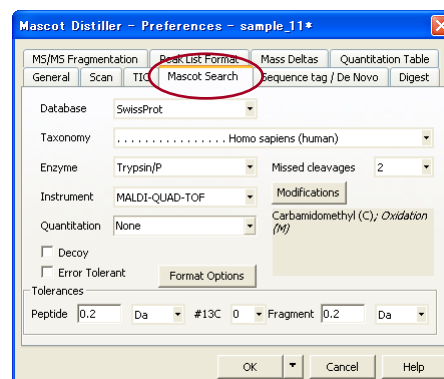
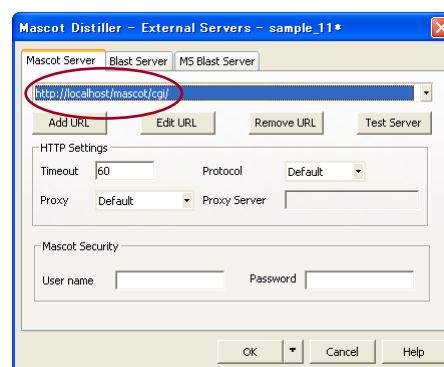


(7) Mascot 検索条件のデフォルト設定

接続したい Mascot Server は [Tools] → [External Servers ...] を選択して表示されるダイアログの [Mascot Server] タブを使って指定してください。複数の Mascot Server を指定することができます。[Add URL]、[Edit URL]、[Remove URL] ボタンを使って Mascot Server を登録、編集、削除してください。[Test Server] ボタンを押すことにより、登録した Mascot Server との通信テストを行うことができます。また、Blast Server および MS Blast Server も登録することができます。

Mascot 検索条件設定画面に表示される検索条件は、[Tools] → [Preferences ...] を選択(あるいはメニューバーの [Preferences] アイコンをクリック)して表示されるダイアログの [Mascot Search] タブで設定することができます。

設定内容をデフォルト値として保存する場合は、[OK] ボタンの右にある [▼] を押して [Save As Defaults] を選択した後、[OK] ボタンを押してください。

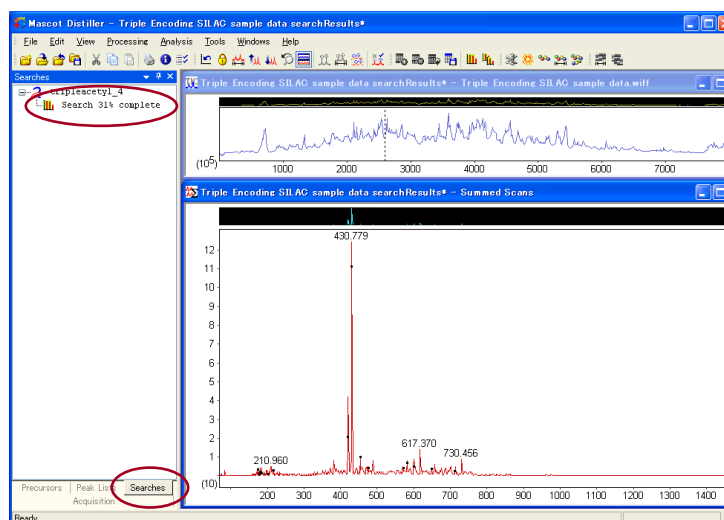


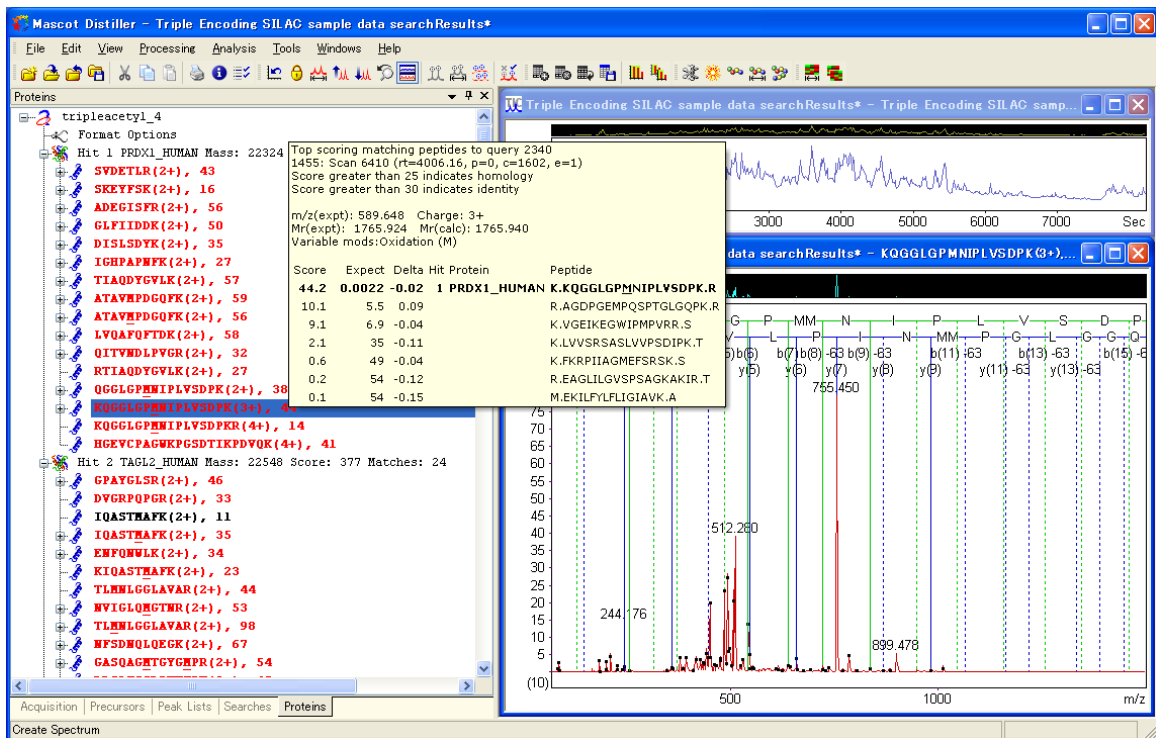
(8) Search Toolbox (オプションモジュール)

ピーク抽出処理が終了した後に、[Analysis] → [Mascot Search ...] → [All Peak Lists] を選択(あるいはメニューバーの [All Peak Lists] アイコンをクリック)して Mascot 検索を実行すると、[Data Explorer] に [Searches] タブが追加され、Mascot 検索の進捗状況を % で表示します。

Mascot 検索が終了すると、[Data Explorer] に [Proteins] タブが新たに追加され、Mascot 検索によって得られたタンパク質およびペプチドのヒットリストが Select Summary レポートと同じ内容で表示されます。

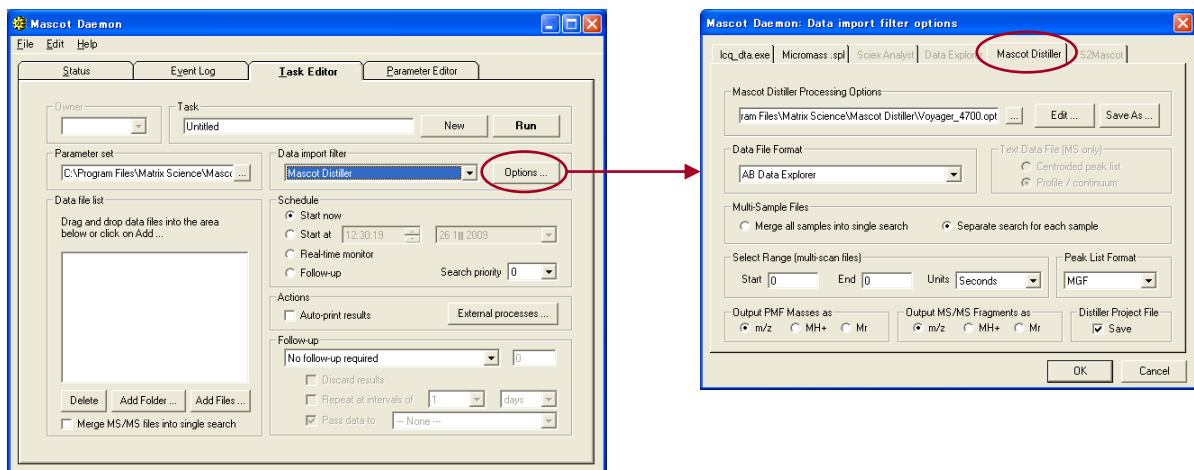
[Data Explorer] → [Proteins] タブにリストされている任意のペプチドをクリックすると反転し、[Scan ウィンドウ] の MS/MS スペクトルにそのペプチドのアミノ酸配列情報が重ね合わされて表示されます。また、リストされている任意のペプチドにマウスカーソルを合わせると、その MS/MS データに対してヒットしたペプチド情報がポップアップ表示されます。





(9) Daemon Toolbox (オプションモジュール)

Mascot Daemon から Mascot Distiller を利用する環境を構築することができます。Mascot Daemon がインストールされた PC に Daemon Toolbox モジュールが付加された Mascot Distiller をインストールしてください。Mascot Daemon の [Task Editor] タブにある [Data import filter] のリストから「Mascot Distiller」を選択すると、その右隣にある [Options ...] ボタンがアクティブになり、Mascot Distiller の Processing Option にアクセスすることができます。



(10) Quantitation Toolbox (オプションモジュール)

Mascot 検索でマッチしたペプチドに対応するプリカーサイオンの XIC の強度を利用して定量計算する機能をサポートしています。詳しくは「Mascot Distiller 定量解析クイックスタート」をご覧ください。

8 お問い合わせ

何かお困りのことがありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。



マトリックスサイエンス株式会社

support-jp@matrixscience.com

03-5807-7895

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-10 ART ビル 1 階

Copyright 2009 - 2020 Matrix Science Ltd. , マトリックスサイエンス株式会社
本書の一部あるいは全部について、マトリックスサイエンス株式会社から文書による許可を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。